

「プレスネット」(vol.885)  
平成 29 年 11 月 23 日掲載



コンサート会場で熱演が  
終わった後、間髪を入れず  
発せられる掛け声「ブラ  
ヴォー」、「アンコール」は欠  
かせない。いずれも元はフラ  
ンス語であるが、すっかり日  
本語のなかに溶け込んでい



原野 昇  
(フランス語)

## 日本語のなかのフランス語

### その地で独自の発展をすることは

る。

ほかに、日本語になった  
フランス語起源の語として、  
アベック、パラル、アンツ  
カー、アンサンブル(婦人服  
と音楽で)、アトリエ、マル  
シェ、マリアージュ(料理とワ  
インの)、元は「結婚」という

ン(共同住宅)の管理人で門  
番のような仕事である。最  
近では住宅の近代化、オー  
トロック化で、ほとんど見ら  
れなくなったが、代わりに高  
級ホテルなどで、宿泊客のさ  
まざまな相談や要望に応え  
る「よろず承り係」を指すの

り2階の保育課)、子育てに  
関するよろず相談に対応さ  
れていることはまだあまり  
知られていないのではなからう  
か。  
ソムリエ:西条と言えば  
酒都(日本酒)、フランスと言  
えばワイン。そのワインのこ

ムリエ、野菜ソムリエなど  
様々な分野でソムリエとい  
うことが使われている。食料  
品だけでなく、ジーンズ、ソ  
ムリエまである。ことばはいつ  
たん借用されると、その地で  
独自の発展をしていく。

意味)などもある。

最近耳にするようになって  
たフランス語由来のことば  
で、かつ元の意味を超えて日  
本語で幅広く使われるよう  
になっている語もある。

コンシエルジュ:フランス  
語の元の意味は、アパルトマ

に用いられ、日本ではさらに  
発展させ、学生の種々の相談  
を何でも受け付ける係とし  
て「コンシエルジュ」を置いて  
いる大学もある。東広島市  
役所に最近「保育コンシエル  
ジュ」という係が新たに配置  
されて(2017年10月よ

となら何でも知っていて、レ  
ストランでお客の好みに合  
わせてワイン選びの手助け  
をする専門家がソムリエで  
ある。しかし日本では、プロ  
フェッショナル「資格認定」に  
重点をおいて、ビールソムリ  
エ、チーズソムリエ、みそソ

 広島大学マスターズは、広島  
大学を退職した教職員で組織し  
ています。市民を対象にした講  
座も行っています。  
【問い合わせ】  
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)